

第1回 エコフロンティアかさまの計画的な廃棄物受け入れに係る検討会 議事概要

【日 時】 令和5年5月22日（月）15:30 ～

【場 所】 茨城県庁舎 11階 1102 共用会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【委員からの主な意見】

- ・ 新最終処分場の完成までの間も継続的に廃棄物を計画的に受け入れができるよう目指すべき。
- ・ 廃棄物受け入れ状況の組成から、がれき類・ガラスくず等が全体の66%である。建設現場から出ているものが主だと考えられるが、県内の産業や災害も発生する。
- ・ 廃棄物受け入れにあたり切れ目が発生すると、廃棄物の流れが変わってしまうことが考えられる。
- ・ 新最終処分場ができるまで当面の間は、緊急避難として県外からの廃棄物を抑制し、県内廃棄物を優先して受け入れてほしい。
- ・ 廃棄物の種類による受け入れ削減を検討できないだろうか。
- ・ 一般廃棄物の全体に占めるシェアは低いですが、県内市町村で最終処分場を持っていないところもあるので、市町村の一般廃棄物受け入れも優先的にお願いしたい。
- ・ 新最終処分場の埋立期間が20～23年の計画であるが、将来的にも切れ目が無いよう計画的に受け入れを進めてもらいたい。